

大腿骨頸部骨折で入院されました  
入院日 年 月 日

急性期病院 ( )  
 地域連携クリティカルパス及び入院診療計画書  
 説明日: 年 月 日  
 症状:  疼痛  歩行困難  
 主治医: 看護師: 説明者:

主治医: 看護師:  
 説明日: 年 月 日

かかりつけ医 ( )  
 主治医:  
 他の担当者:

	入院日～手術前日	手術日	術後1～2週	転院
検査	病状にあわせ血液検査、レントゲン、心電図、尿検査を行います	病状にあわせ血液検査、レントゲン、心電図、尿検査を行います	転院先病院のベッド調整がつか次第転院となります。	
治療薬剤	持参された内服薬は医師の確認後に服用の説明をします。薬の内容によっては中止させていただきます	抗生剤点滴	医師の指示により術後輸液、鎮痛剤等治療を行います	
処置	肺塞栓の予防処置を行います	手術	創観察・処置を行います	創傷被覆保護材除去日 月 日
食事	常食 ※患者さまの状態にあわせ、必要時治療食（手術日は絶食） ●特別な栄養管理の必要性（有・無）※必要と判断した場合は、栄養改善に取り組みます			
清潔	体を拭きます	手術	創傷被覆保護材除去後シャワー浴します	開始日 月 日
排泄	ベッド上、尿カテーテル留置		ポータブルトイレ → トイレ	
活動度	ベッド上安静です（牽引）	ベッド上安静です。看護師にて体の向きを換えます	歩行器での歩行訓練をします。リハビリセンターで練習した内容を病棟でも実践しましょう	
リハビリ	骨折をしている足の安静を守りながら、ベッド上での筋力強化を行います	医師の指示のもと早期からリハビリを開始します	足を曲げる練習と筋力をつける練習を始めます。歩く練習を始めます	座る・立つ練習を、車椅子、平行棒、車椅子、平行棒、歩行器でのリハビリ
説明	医師より手術・麻酔について説明があります	手術後の説明があります	術後の経過、日常生活動作、車椅子への移動の仕方について説明します	退院・転院について説明します
医療相談	必要により福祉制度、介護サービスなどの相談にも応じます			

手術後2週間目で転院です

転院日～退院（入院期間：およそ \_\_\_\_日程度）

検査	必要に応じて血液検査、レントゲン
食事	常食 ※必要時治療食
清潔	清拭、入浴、シャワー
排泄	状態に応じて職員がお手伝いしながらトイレ（ベッド上、尿器、ポータブルトイレ、洋式トイレ）に行きます。オムツも徐々に外せるように介助していきます。
活動度	医師と相談して杖、車椅子、歩行器、装具の検討、介護保険サービスの手配、家屋改修指導等を行います
説明	治療計画について説明があります。退院後の治療計画の説明があります
医療相談	入院中のさまざまなご相談に応じます。
治療薬剤	必要に応じて服薬治療が始まる場合があります。

退院・転院基準  
 術後早期合併症無し  
 予定日 年 月 日  
 退院日 年 月 日  
 追加があれば記入

退院・転院基準  
 歩行能力の改善  
 予定日 年 月 日  
 退院日 年 月 日  
 追加があれば記入

病状が安定している限り  
 検査 採血やレントゲンを行います。画像検査は一般病院で行うこともあります  
 治療 内服治療を継続します  
 相談 療養支援について相談を受けます

一般・療養型病床 ( )  
 主治医:  
 他の担当者:

状態に応じて期間を決定  
 検査 採血やレントゲンを行います。画像検査は一般病院で行うこともあります  
 治療 内服治療を継続します  
 リハ 必要に応じてリハビリを継続します

施設 ( )  
 担当者:

状態に応じて期間を決定  
 相談 療養支援について相談を受けます

同意書（本人または家族のサイン）  
 日付 年 月 日  
 氏名 (続柄)

●入院診療計画書について説明を受けました。

同意書（本人または家族のサイン）  
 日付 年 月 日  
 氏名 (続柄)

日常生活機能評価表  
 点

転院先

同意書（本人または家族のサイン）  
 日付 年 月 日  
 氏名 (続柄)

日常生活機能評価表  
 点

日常生活機能評価表  
 点